

10/4 朝日新聞朝刊

北九州版

10/4 朝日新聞朝刊

北九州版

PCB処理施設

天井の一部崩落

若松区 けが人なし

北九州市若松区のポリ塩化ビフェニール(PCB)処理施設で、先月30

日に天井の一部が崩落する事故が起きていたことがわかった。処理機器などは破損せず、PCBの漏出はなかった。けが人もいなかった。

事故があったのは「日本環境安全事業株式会社(本社・東京)の、変圧器や蓄電器の洗浄処理施設。30日午後1時半ごろ、電気系統の点検に訪れた職員が天井の一部が約20平方メートルにわたり崩落しているのをみつけた。

PCB処理施設
天井材が落下

北九州事業所

PCBを含有するトランスやコンデンサーを処理している日本環境安全事業の北九州事業所(若松区)で、9月30日に2

次洗浄室の天井材20平方メートルが落下していたことがわかった。外部へのPCB漏えいはないという。

同事業所によると、落ちたのは天井部の石膏ボードやケイ酸カルシウム板。けが人や施設の損傷はなかった。2次洗浄室はPCBを抜き取って

解体したトランスやコンデンサーを最終処理をする場所。外に空気が漏れないよう減圧しているが、電気設備の点検の後

に気圧が下がりがすぎたのが原因らしい。空気の流出や他の天井部の異常はなかった。現在、同室の作業を停止し

ており、近く補修する。

九州版

10/4 西日本新聞朝刊

PCB処理施設

天井が一部落下

北九州

北九州市は三日、同市若松区響町で「日本環境安全事業(本社・東京)が運営するポリ塩化ビフェニール(PCB)の廃棄物処理施設で、天井が一部破損する事故が起きていたと発表した。PCBの漏えいはなく、けが人はなかった。

市環境産業政策室などによると、施設は三階建てで、破損したのはPCBが付着した鉄などを洗浄処理する二階の一室(約千平方メートル)。九月三十日午後一時半ごろ、天井の約二十平方メートルが落下しているのを、従業員が見つけた。

部屋は、気化した有害物質のPCBが外に漏れないように気圧を調整している。同日は、気圧調整用の送風機のモーターを点検しており、同社は「危険性が低かったため、報告には緊急性を要しないと判断した」と説明している。

市に会社から連絡が入ったのは今日二日夕で、同社は「危険性が低かったため、報告には緊急性を要しないと判断した」と説明している。